

📷 小学校区と意見交換  
まちづくりブロック懇談会「町長と語ろう」



▲函南小校区の地域の代表と意見交換が行われました

10月4日、函南町役場で「まちづくりブロック懇談会『町長と語ろう』」が行われました。

ブロック懇談会は、区長など地域の代表と、町長や町職員と地域の実情・課題について意見交換を行い、今後の町政運営や自治会活動に生かすために毎年開催。小学校区を単位としたブロック懇談会を5回行います。

第1回は、函南小校区を対象に行われ、ゼロ組対策など地域コミュニティが抱える課題について話し合いました。

📷 好演・力作があふれる  
第50回 函南町文化祭

9月28日～9月30日、10月5日～10月7日、函南町文化センターなどで「第50回函南町文化祭」が行われました。

文化祭は記念の式典やイベントを含め前期・後期に分けて行い、文化協会に加盟する73団体約850人に加え、一般町民などが参加しました。

例年以上に熱のこもった作品や演目が多く、参加者の日々の成果が十分に発揮された、50回目の節目にふさわしい文化祭となりました。

会場には多くの町民が来場し、芸術の秋、文化の秋を楽しみました。



▲3団体総勢60人によるコーラス披露

📷 楽しみながら消防・防災を学ぶ  
函南町消防・防災フェア



▲放水を披露するちびっこ消防隊

10月7日、函南町役場で「第21回函南町消防・防災フェア」が行われ、約2,000人が来場しました。

同フェアには、函南町消防団、田方北消防署、三島警察署、陸上自衛隊第34普通科連隊などが参加し、消防団員による模擬店、消防署によるレスキュー体験、はしご車・自衛隊車両の試乗体験、自衛隊・国土交通省・警察車両の展示、日曜朝市などを行いました。

この他にちびっこ消防隊の訓練披露、自衛隊によるラッパ・太鼓の演奏、消防署員による降下訓練披露、消防・防災クイズなどが行われ、来場者は楽しみながら消防や防災について学びました。

📷 等級、形状、音を確認  
秋スイカの目ざろえ会



▲出来栄を確認する関係者

9月26日、JA三島函南支店出荷場で秋の「函南西瓜」の目ざろえ会が行われ、生産者や農協職員、市場関係者など約20人が参加しました。

目ざろえ会は、スイカの等級、形状、たたいた音などで等級基準の確認を行います。

秋のスイカは、夏のスイカに比べると若干小ぶりですが、果肉が鮮やかな紅色で滑らかな食感と甘みが特徴です。

秋スイカは主に県東部や東京市場に出荷され、カット売りが主流となります。

📷 子どもも大人もみんな笑顔に  
ヨチヨチうんどうかい

9月22日、子育て交流センターで「ヨチヨチうんどうかい」が行われ、1歳までの子どもと保護者22組が参加しました。

子どもたちは、トンネルやマットレスで作った山などをハイハイで進む「ハイハイ競争」やかわいいキャラクターに変身する「変身コスチューム」など4種目に挑戦し、たくさんの歓声が上がリ、親子で楽しく過ごしました。

初めて見る景色に、不思議そうな顔をする子や笑顔になる子などさまざまな表情を見ることができました。



▲ハイハイでトンネルを進む子ども

📷 安心安全な地域を目指して  
静岡県弁護士会と協定締結



▲協定書を手にする大多和会長(右)と仁科町長(左)

9月25日、函南町役場で静岡県弁護士会と「平時の災害対策及び災害時被災者支援活動に関する函南町と静岡県弁護士会との協定」の調印式が行われました。

同協定は平時の災害対策として、函南町版の県弁護士会ニュース「災害時Q&A集(①困ったときの窓口編②主な支援制度編③相続編)」の作成と周知、災害時における被災者に対する相談業務をお願いするもので、被災者の不安解消、法的問題の解決や生活再建などにつなげることを目的とした内容です。